

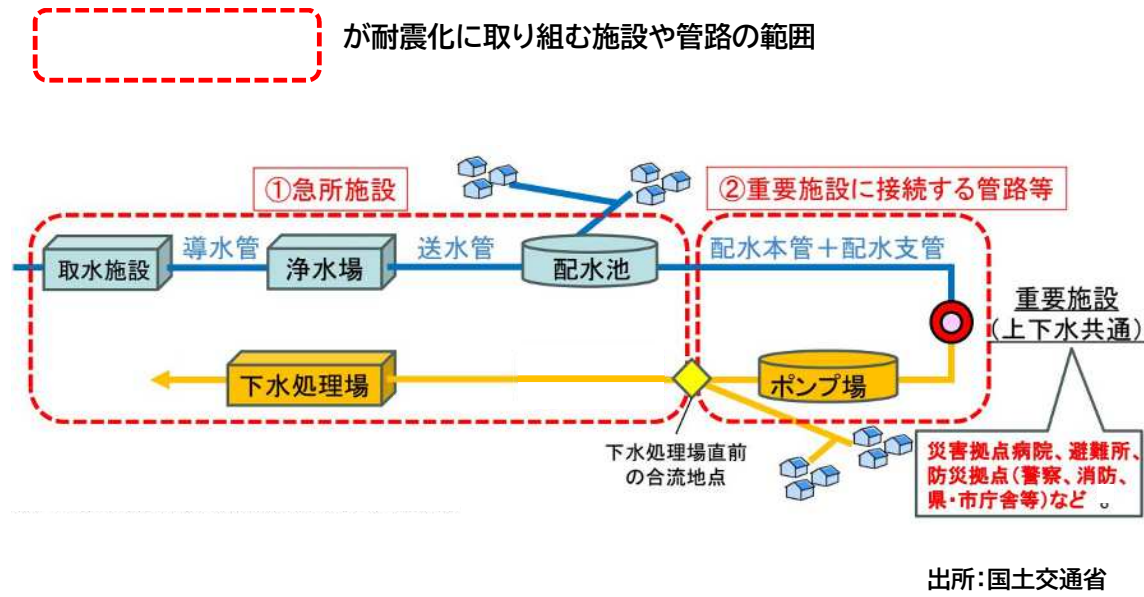
霧島市上下水道耐震化計画【概要版】

I 計画の趣旨と計画期間

霧島市水道事業および下水道事業では、令和6年能登半島地震の経験を踏まえた国の要請を受け、「霧島市上下水道耐震化計画」を策定しました。

この計画は、災害に強く持続可能な上下水道システムを構築するため、配水池や下水処理場などの最重要施設(①急所施設)と避難所などの重要施設に接続する水道・下水道管路、ポンプ場(②重要施設に接続する管路等)について、概ね25年間で耐震化を完了することを目指し、令和7～11年度の5年間の目標を定めたものです。

II 対象施設のイメージ図



III 5年間の耐震化の考え方

水道(上水道、簡易水道)

現行の更新計画や工事計画に沿って実施する。

下水道

処理場～直前の合流地点(①急所施設)の管路から段階的に実施する。

IV 5年間の耐震化目標

(令和5年度末の耐震化率 → 令和11年度末の耐震化率)

区分	①		②
水道	取水施設、配水池等 266 施設	導水管・送水管 113.1 km	重要施設に接続する管路 47.1 km
	0% → 33% ^{※1}	30% → 34%	35% → 46%
下水道	処理場 2 施設	処理場～合流地点の管路 1.1 km	重要施設に接続する管路 11.8 km
	0% → 0%	0% → 64%	64% → 64%
			ポンプ場 2 施設 0% → 0%

※1 耐震化率は、「施設能力(m³/日)や有効容量(m³)ベース」のため、例えば、半数の133施設の耐震化が完了しても50%になるものではありません。

V 重要施設「○」37施設(この施設までの管路等を耐震化します。)

区分(施設数)	施設名称
医療機関(11)	霧島記念病院、医師会医療センター、霧島杉安病院、霧島整形外科病院、国分生協病院、国分中央病院、国分脳神経外科、うえぞの内科クリニック、霧島桜ヶ丘病院、島田泌尿器科医院、たまいクリニック
避難所(13)	いきいき国分交流センター、国分ふれあいの郷、広瀬ふれあい館、国分南中学校、溝辺総合支所、陵南小学校、高千穂地区公民館、小野地区公民館、富隈地区公民館、隼人農村環境改善センター、日当山中学校、隼人姫城地区公民館、福山総合支所
防災拠点等(13)	始良保健所、霧島警察署、霧島市消防局、大阪航空局鹿児島空港事務所、陸上自衛隊第12普通科連隊(国分自衛隊)、九州電力送配電(株)霧島配電事業所、始良地区医師会、始良地区歯科医師会口腔保健センター、国分シビックセンター、隼人市民サービスセンター、横川総合支所、牧園総合支所、霧島総合支所